

京都教区時報

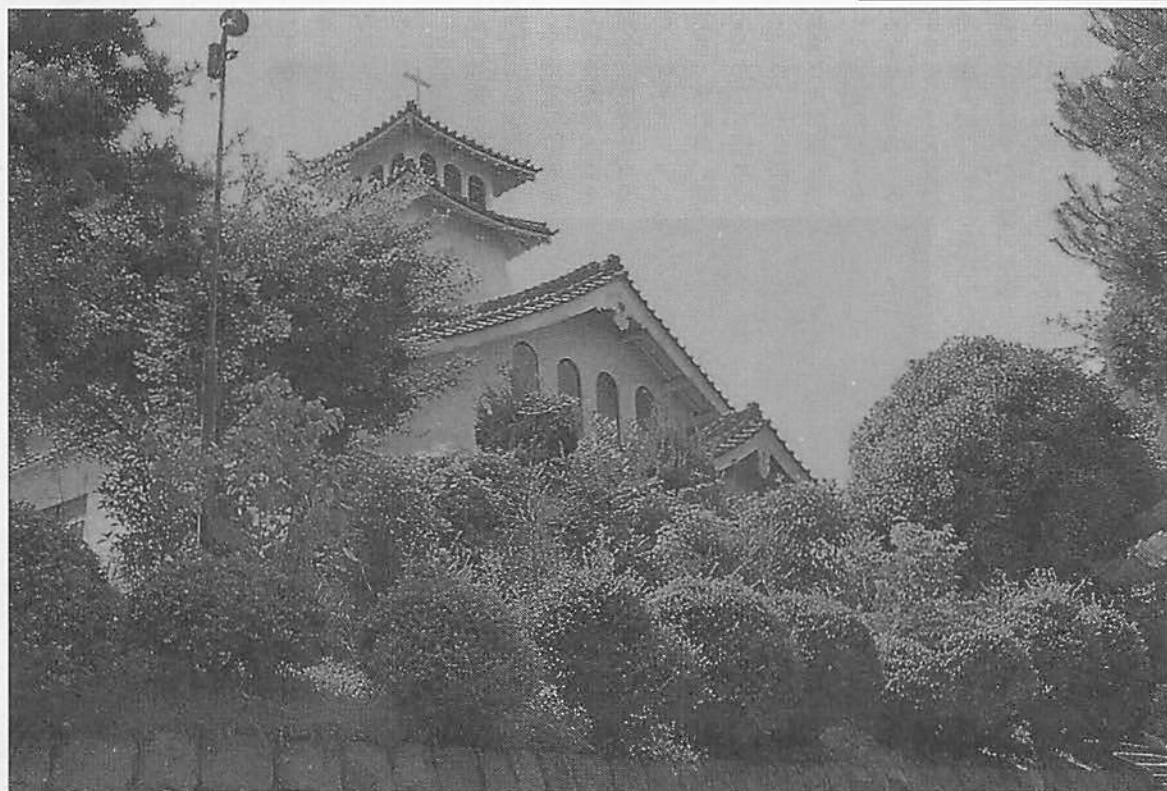
発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

Home Page <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/catholic/>

2・3頁 京都教区巡礼指定地紹介

4頁～6頁 京都司教区現勢報告

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジ
ナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さ
んまで申込み
TEL・FAX 0794-31-8601



大聖年は
イベントではありません

今、キリスト者が生きるべき心の体験です。その目的は、福音宣教者としての私たち一人ひとりの不足を反省し、キリスト者の信仰とあかしを強めること、そして常に成長を続けるために決意を新たにしていこうにあります。

したがって、この大聖年に次の四つのことを実行しましょう。

- 1 父なる神への賛美と感謝の祈りをささげる。
- 2 回心への深い望みと聖性への真のあこがれをもつ。
- 3 記憶を清め、すべての人の和解と平和の道具となる。
- 4 隣人、特に最も貧しい人々と連帯する。

一月号三ページの大聖年司牧書簡「大聖年の四つの実行」より。

次号よりこの四つの実行についてお知らせします。

(写真は巡礼指定地の大津教会の聖堂です。)

4
2000

京都教区巡礼指定地紹介 〆その3 〃

今月の巡礼指定地の紹介は、滋賀県の大津教会です。

巡礼指定地となった大津教会

一 教会の生い立ち

大聖年の免償を得るために巡礼するようにと、京都教区は滋賀地区の指定地を草津教会と当教会とを指定された。

当教会は別称『湖畔の聖母』教会と言われる。大聖年となった二〇〇〇年で現聖堂献堂六十周年を迎える。回顧すれば一九四〇年(昭和十五年)九月十五日『悲しみの聖母記念日』に、現在地に現認している姿の新聖堂が建立されて盛大な献堂式ミサが捧げられた。新聖堂建立には当時滋賀県下の信徒たちの熱い要望が実り、一九三三年以来宣教司牧の任にあった、メリノール宣教会神父方(特に当時の同宣教会日本管区長であり、京都教区長もされていたバーン神父)後に教皇庁韓国教皇使節として派遣され、次いで司教叙階、折からの朝鮮戦争で共産軍に捕らえられ、厳寒の中を徒歩で平壤、鴨

緑江へと行進させられ、飢えと疲労と肺炎で一九五〇年(昭和二十五年)十一月二十五日六十二歳で帰天された)の配慮と共に)の絶大な努力によって進められたのである。

当時聖堂には一、三の建物以外に関西電力の建物もなく、聖堂の位置から琵琶湖の水面を完全に見渡せる美しいロケーションであったのが、湖岸がかなり埋め立てられ、そこには高層ビルが建ち並んで湖面が見えなくなり、また一昨

年まではJR琵琶湖線膳所駅付近での車窓からは、聖堂の鮮やかな青い屋根瓦が眺められたのが、それを遮る三階建ての建物が出るなどで一寸残念な情景となったが、木造の奥ゆかしい教会であることを巡礼で知っ



て頂ければ幸いである。

二 教会の歴史的背景

日本のキリシタン伝来の第一歩は一五四九年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸した時であり、それ以後の日本におけるキリスト教布教の概略は、前々

号の巡礼地紹介(その一)に掲載されているので割愛するが、ザビエルが京都へ入る前に近江に足を入れて

いることは神の思召しを感じる。そして戦国時代近江安土の地にセミナリヨ(神学校)が造られ、キ

スト教信仰の発展が期待されたが、豊臣秀吉のキリスト教弾圧、迫害政策以後、明治に至るまで、日本におけるキリスト教信仰が見られなかったのは周知の事実である。しかし、明治時代には滋賀県まで

布教の手は伸びず、大正時代によりやく大津の百石町の借家にフランス人のギリナン神父の手で仮教会が出来て、三、四人の方が信者になられた。ところが、同神父が重い気管支喘息のため布教を中止され、教会も引き上げられてしまったので、滋賀県のカトリック教会は一つもないままに二十年の歲月が流れた。

しかし、一九三二年(昭和七年)頃、当時京都三条河原町のザビエル教会主任司祭で、フランス外国宣教会のウット神父の配慮で、以前同師の許で働いていた事のある釜沼伝道師一家を東北地方から呼ばれて、大津市松本松ヶ枝の借家に住ませ、伝道・集会所とされたことで、信仰を得る人が次第に増えた。だが集まってくる信者にとっては、やはり祈りの場としての教会堂を憧れていた。こうした信者の想いのある時、新しくアメリカのメリノール宣教会が、当時の駐日教皇大使ムーニー大司教の要請で、京都地区での司牧にあたることを知って、信者たちは滋賀県下での宣教活動をも嘆願した。ただ、こうした信仰活動の背景には、内外政治事情に日米関係の陰悪化が見られ、京都北部に軍港を

抱える京都府への同会の進出は一
時見合わせた方が賢明ではないか
との判断から、滋賀県下の信者の
願いを受けて大津市膳所の琵琶湖
畔にあった「さざなみ荘」(もと
温泉料亭を経てスイス人貿易商の
別荘)を借りてメリノール日本管
区本部とし、滋賀県庁正門前から
五十米位東側にあった日本食堂を
借り受けて内部を改装し、仮教会
として宣教活動に入った。その後、
大津市唐崎にバーン神父は格好の
土地(現在のメリノール・ハウスの
場所ではない)を見つけて「さ
ざなみ荘」の管区本部をここへ移
し、「さざなみ荘」へはメリノール
女子修道院が入った。

地域に対する布教活動は、仮教
会と「さざなみ荘」の両方で積極
的に行われた。とりわけ、仮教会
は県庁の真正面という絶好の地の
利にあることも手伝って、新来の
求道者が一人もない週はほとんど
なかったと伝えられている。子供
たちは「おやつ」を楽しみに、仮
教会、「さざなみ荘」に集まった
という。今は亡き京都教区司祭で
あった斎木神父も子供の頃、たま
たま父上と訪ねた「さざなみ荘」
で、アメリカ人の神父から貰った
サンドイッチに挟んだローストビー
フの香りが忘れられなかったと話
しておられたとか。

しかし、このように順風を受け
ての宣教の中で、一九三八年二月
に「さざなみ荘」を失火により消
失、同宣教会としては一九三七年
六月に県下の彦根教会を火災焼失
し、「さざなみ荘」に続いて京都
伏見教会も火事を出すという事故
が相次ぎ、財政上の大きな打撃を
受けた。

こうした中にも、大津に立派な
聖堂という祈りが通じて、先に
記述したごとく一九三九年(昭和
十四年)建設に着工、
請負は大林組、下請け
は京都のアメリカ屋が
担当し、一九四〇年九
月十五日竣工したので
ある。

着工前は鉄筋コン
クリートで考えられてい
たが、日本の時節柄こ
の方法は制限され、木造に変えら
れたとか。しかし、今にして思え
ば木造であったことが、現姿を保
てたと言える。

太平洋戦争のさなか、外国人神
父方は日本で軟禁されたり、国外
退去を命じられたりする苦難が覆
いかぶさり、大津教会は思想取締

警察官の宿舎に接収され、教会信
徒の中にはその信仰ゆえに検束取
り調べを受けさせられたりした苦
しみを味わった方もあったが、そ
の方たちはかえってこの教会を守
り通されたのである。

三 教会の現勢

一九七四年(昭和四十九年)四
月からは、それまでのメリノール
宣教会の司牧から京都教区司祭の
司牧教会となる。

今までにメリノール宣教会が派
遣された司祭数は延べ二十九名、
同女子修道会から
の派遣修道女は延
べ十三名で、教区
司祭は六名である。
また、大津教会
から召出しのあつ
た司祭は一名(修
道会司祭)、修道
女は十三名である。

現在、大津教会は唐崎教会(大
津市見世在)、安曇川教会(高島
郡安曇川町在)との共同宣教司牧
地区で活動している。

教会の地域へのアピールは、開
かれた教会を目指しており、福祉
活動充実に力を注ぐ方向にある。
現信徒数は五百五十八名です。



〒520-0802
滋賀県大津市馬場二四一六
電話077(522)3987
主日のミサ (土) 午後六時半
(日) 午前九時

なお、巡礼記念用にと上記掲載
のような記念スタンプを作製いた
しました。押印いただき思い出と
してください。

なお、本文中の一、二項の記事
は、「大津カトリック教会五十周
年誌」中の《特別寄稿・キリシタ
ン時代の近江から大津教会の設立
まで》三俣俊二著、および《湖畔
に鐘の音が鳴りひびくまで》池田
亀郎(遺稿)を参照させていただ
きました。

カトリック京都司教区現勢報告書 (1999年1月1日~12月31日)

司 教 日本人 2 外国人 0

司祭・修道士 () 内は修練者及び志願者数

		司 祭		修 道 士	
		日本人	外国人	日本人	外国人
教 区		17	0		
宣 教 会	メリノール会	0	12	0	0
	グアダルベ会	0	4		
	ザベリオ会	0	1		
	フィリピン会	0	2		
修 道 会	ヴィアートル会	1	3	0	5
	エスコラピオス会	0	3	0	0
	カルメル会	4	1 (1)	0 (1)	0
	ドミニコ会	3	0		
	マリスタ会	0	6	0	0
	レデンプートル会	3	3	1	0
	フランシスコ会	0	2		
	サレジオ会	1	0	1 (7)	0
	イエズス会	2	3		
	上記以外の所属の教区内居住司祭	1	6		
個人 区	プレラトゥーラ・ベルソナーリス オブスディ	0	1		
合 計		32	47 (1)	2 (8)	5

施 設

社 会 福 祉 施 設	保育所 (園)	6	年間の延べ人数 (園児)	9,384
	保育所 (園) 以外の 児童福祉事業	4	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	42,473 71,079
	老人ホーム	8	宿泊を伴う利用者数	457
	老人ホーム以外の 老人福祉事業	17	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	6,605 97,609
	その他の 社会福祉事業	4	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	138 16,990

教 育 施 設	幼 稚 園	23	男 子	1,710 (47)
			女 子	1,983 (34)
	小 学 校	2	男 子	801 (32)
			女 子	1,145 (50)
	中 学 校	6	男 子	838 (20)
			女 子	1,664 (27)
	高 等 学 校	9	男 子	1,882 (19)
			女 子	3,055 (31)
	専 修 学 校	2	男 子	5 (0)
			女 子	112 (2)
	短 期 大 学	1	女 子	830 (9)
	大 学	1	女 子	1,376 (9)
養 護 学 校			男 子	26 (0)
			女 子	21 (0)

() 内は信徒内数、今年度はわかる範囲の数字です。

一 般 施 設	センター・会館	12	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	4,923 45,118
	学 生 寮	3	利 用 者 数	21
	社 会 人 寮	1	利 用 者 数	4
	黙 想 の 家	1	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	2,175 82
	働く人の家	2	宿泊を伴う利用者数 宿泊を伴わない利用者数	31 370
	サンパウロ 京都センター	1	利 用 者 数	12,610

概 況

面 積：18,093.82km²
(京都府、滋賀県、奈良県、三重県)

人 口：7,291,929人

信者総数：19,704人

求 道 者：274人

小 教 区：55

巡回教会：3

神学生・哲学生	日本人	外国人
教 区	2	0
修 道 会	2	0
合 計	4	0

修道女 () 内は修練者及び志願者数

	日本人	外国人
イエスの小さい姉妹の友愛会	2	1
ウイタの聖ヨゼフ修道会	26	3
幼きイエズス修道会	15	0
カルメル会	17 (2)	0
カロンデレットの聖ヨゼフ会	8	2
コングレガシオン・ド・ノートルダム	3	0
聖ウルスラ修道会	1	1
聖心のウルスラ宣教修道女会	7	2
聖ドミニコの宣教修道女会	7	0
聖ドミニコ女子修道会	7	0
聖母訪問会	27	0
ヌヴェール愛徳修道会	21	0
ノートルダム教育修道女会	61 (1)	7
メリノール女子修道会	2	7
善きサマリア人修道会	6	1
聖ヴィンセンシオの愛徳姉妹会	4	0
隣保聖体修道会	0	5
マリアの御心会	4	0
エスコラピオス修道女会	3	2
無原罪の聖母フランシスコ姉妹会	0	4
カルメル宣教修道女会	0	4
合 計	221 (3)	39

在俗会

聖母カテキスタ会	20	0
----------	----	---

伝道師

	男	女	合計
信 徒	0	3	3
修 道 者	0	0	0

小教区概況

	信 徒 数		ミ サ 参 加			求道者	洗 礼		堅 信	結 婚	転 入	転 出	死 亡	教 会 学 校	
	総数	(1998)	日曜日	復活祭	クリスマス		成人	幼児						信	未
A. 京都市内															
1.河 原 町	1,761	1,732	865	1,800	2,760	27	15	16	24	28	19	54	12	57	88
2.桂	698	692	90	260	330	0	1	2	0	0	4	7	5	21	7
3.北 白 川	369	356	130	250	400	20	9	4	14	10	1	3	4	22	0
4.衣 笠	559	561	240	380	560	4	8	7	0	8	7	18	5	29	344
5.宇 津	13	13	11	12	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6.山 国	22	23	12	14	10	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7.九 条	261	256	40	90	140	0	0	0	0	2	8	2	1	14	0
8.小 山	209	224	35	80	100	1	1	1	0	0	3	3	4	0	0
9.西 院	627	627	155	470	325	41	8	3	3	3	10	13	7	29	0
10.高 野	496	496	100	150	220	5	3	1	2	1	10	9	5	25	0
11.西 陣	148	149	50	130	110	0	0	0	0	1	1	2	1	13	2
12.伏 見	508	513	130	310	400	5	2	2	2	2	4	10	3	30	1
13.桃 山	514	441	70	119	199	4	8	3	7	4	2	2	3	8	6
14.山 科	347	344	120	230	370	5	5	1	3	2	4	3	3	24	9
小 計	6,532	6,427	2,048	4,295	5,936	113	60	41	55	61	73	127	53	272	457
B. 京都府南部															
15.八 幡	187	191	50	100	100	0	1	1	0	1	2	5	3	8	0
16.宇 治	618	678	120	150	170	8	5	1	1	1	11	5	3	21	2
17.青 谷	187	262	40	80	120	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0
18.丹 波	306	288	50	100	100	6	1	3	0	1	1	1	3	11	10
19.田 辺	468	464	100	150	180	2	4	1	0	5	4	4	1	5	0
20.精 華	125	124	70	100	160	8	4	5	0	2	3	3	8	8	24
21.長 岡	313	307	70	180	120	3	0	0	0	1	6	0	0	9	2
小 計	2,204	2,314	500	860	950	27	15	11	1	11	31	22	18	62	38
C. 京都府北部															
22.綾 部	60	98	15	25	45	6	1	0	0	0	0	4	3	0	0
23.福 知 山	65	65	15	40	40	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24.報 恩 寺	293	303	20	65	86	8	2	2	0	0	0	0	7	0	0
25.西 舞 鶴	319	331	85	130	230	2	5	3	3	2	1	10	4	42	6
26.東 舞 鶴	252	243	60	80	120	0	1	3	1	1	11	3	3	0	0
27.宮 津	314	313	80	120	130	0	1	5	1	3	2	0	7	22	0
28.岩 滝	174	174	35	50	60	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
29.加 悦	187	225	50	70	140	2	1	0	0	0	1	40	4	11	0
30.網 野	135	135	35	40	50	0	0	5	0	1	0	3	1	0	0
31.丹後大宮	135	143	40	86	82	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0
32.峰 山	124	131	33	67	69	2	0	0	1	2	2	8	1	0	0
小 計	2,058	2,161	468	773	1,052	23	11	19	6	9	17	69	32	81	6
京都府合計	10,794	10,902	3,016	5,928	7,938	163	86	71	62	81	121	218	103	415	501

小教区概況

	信 徒 数		ミ サ 参 加			求道者	洗 礼		堅 信	結 婚	転 入	転 出	死 亡	教 会 学 校		
	総数	(1998)	日曜日	復活祭	クリスマス		成人	幼児						信	未	
D. 滋賀県																
33.大 津	558	556	145	230	260	5	9	5	11	5	9	13	8	6	3	
34.唐 崎	275	271	60	130	160	1	1	4	2	0	9	10	0	18	0	
35.安 曇 川	75	75	20	25	40	0	0	0	1	0	3	1	2	0	0	
36.草 津	834	814	212	456	550	2	4	15	9	11	7	8	8	43	0	
37.甲 賀																
38.彦 根	253	252	70	123	168	0	3	8	3	4	9	6	2	11	0	
39.長 浜	94	94	34	108	225	1	1	9	0	0	3	3	0	0	0	
小 計	2,089	2,062	541	1,072	1,403	9	18	41	26	20	40	41	20	78	3	
E. 奈良県																
40.御 所	144	144	40	80	100	1	1	1	0	0	1	0	3	0	0	
41.富 雄	318	316	90	170	230	2	5	1	2	2	1	4	1	10	1	
42.登美ヶ丘	515	600	150	623	550	10	3	2	3	5	17	19	1	42	85	
43.奈 良	1,063	1,107	300	430	750	22	20	8	18	10	9	74	7	38	10	
44.大和郡山	390	398	85	180	250	12	5	6	5	5	11	18	3	27	2	
45.大和高田	451	453	85	200	250	8	2	1	0	2	4	4	5	22	57	
46.西 大 和	280	283	60	150	200	0	0	4	0	2	1	3	1	25	0	
47.大和八木	283	281	70	110	150	9	3	1	0	1	12	6	4	10	0	
小 計	3,444	3,582	880	1,943	2,480	64	39	24	28	27	56	128	25	174	155	
F. 三重県																
48.伊 勢	369	368	71	140	209	6	0	0	0	0	3	11	4	26	0	
49.桑 名	313	347	85	150	170	4	6	4	9	1	3	0	4	12	0	
50.鈴 鹿	276	271	60	120	150	3	2	42	18	7	5	8	0	2	2	
51.亀 山	60	60	30	100	150	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	
52. 津	462	470	150	330	380	5	7	15	6	1	1	14	5	13	19	
53.久 居	181	179	50	70	120	1	1	0	2	0	3	0	1	13	4	
54.上 野	155	145	50	70	90	9	3	5	3	1	2	0	0	0	0	
55.名 張	152	147	65	80	90	0	2	0	0	1	4	1	1	30	0	
56.松 阪	223	227	45	170	260	3	7	0	5	1	3	8	6	0	0	
57.尾 鷲	38	41	8	17	15	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
58.四 日 市	776	800	288	539	622	6	11	38	2	14	6	10	6	32	0	
小 計	3,005	3,055	902	1,786	2,256	38	40	107	45	28	30	52	27	128	25	
総 計	19,332	19,601	5,339	10,729	14,077	274	183	243	161	156	247	439	175	795	684	

*甲賀教会の数字は草津教会に含まれている。

2000年2月26日
カトリック京都司教区
本 部 事 務 局

京都教区の青少年への関わり

京都教区司祭
森田直樹

皆様すでにご存じの通り、大塚司教様は今年1月20日付けで青少年担当の新しい司祭任命をなさいました。次世代の教会を担う青少年に対する今までの教区としての関わりを振り返りながら、今回の司祭任命の背景にある青少年との関わりの今後の方向性について、まとめてみたいと思います。

1 カトリック青年センターの設置

一九八七年に開催された「第一回福音宣教推進全国会議(NICE)」の書記団を京都教区・大阪教区の青年たちが受け持ちました。そこで盛り上がった気運を大切にし、よりスムーズなコミュニケーションとネットワークの充実を図るために、「青年センター」設置が青年たちから宣教司牧評議会に提案されました。この提案を受け、京都教区は全国の諸教区に先駆けて、一九八九年に「カトリック青年センター」を設置しました。

このセンターは、「現代社会にあって、青年一人一人が交流を深め、キリスト者として生きる喜びを共に分かち合い、育てよう」という理念のもとに、情報システム

のキーステーション、相談機関、企画立案を行なう場という機能を持つことを目指しました。

2 青少年に関わる様々な活動

「教区中学生会」「中学生広島平和巡礼」「教区高校生会」においては、中学生・高校生が同年代の仲間との出会いの中で、信仰者として生きる喜びを分かち合い、育てあう機会となっています。

「教区中学生会」では、小教区を越えた仲間との出会いの中で、お互いの友情を深め、人と人とのつながりの大切さを学んでいます。「中学生広島平和巡礼」では、実際に広島に巡礼することを通して平和の大切さを学んでいます。「教区高校生会」では、高校生自身が主体となって、合宿を企画、運営し、毎回の合宿では、様々なテーマで分かち合いを深めています。

また、高校生以上を対象とした「アジア体験学習」においては、フィリピン、インファンタのICDスタッフの全面的な協力のもと、ホームステイを含む「文化交流」の体験の場となっています。

3 青少年信徒を取り巻く状況の変化

上記の「カトリック青年センター」「教区中学生会」「中学生広島平和巡礼」「教区高校生会」は、各小教区または各地区レベルでの中学生・高校生、青年の活動がまだ活発であったときに始まりました。各小教区、各地区レベルでの青年の人数と活動の減少によって、各地区での青年の活動をサポートする、という「カトリック青年センター」のあり方が、青年たちが一つに集まる場へと変化してきました。中学生・高校生についても、各小教区や地区での関わりが減少し、「教区中学生会」「教区高校生会」の合宿でやっと同年代の仲間たちに出会う、という傾向が強くなってきました。

4 急務である青少年の養成

昨秋の「青少年委員会」会議では、次の世代の信仰者を育てるために、青少年への信徒養成の必要性和緊急性が話題となりました。この養成は、将来、教会内だけで奉仕するリーダー養成を目指すのではなく、青年一人一人が自らのカリスマを見出し、自己に託された神様の望みと計画に気付き、信仰と喜びをもって生き、周りの人々に伝えていくことができるような信徒養成を目指すものです。

5 「青少年養成チーム」の発足

一方で京都教区が推し進めている「共同宣教司牧」の理念を受けて、従来のように青少年に関わる様々なグループに担当者一人ずつ置く制度を改め、複数の司祭たちと青年たちが共に主体となって、「共に考え・共に責任を担い・共に学び成長していく」ために、次の8名の司祭からなる「青少年養成チーム」が発足しました。

青少年養成チーム《近藤勉、福岡一穂、外崎豊、三宅秀和、A・キム、K・タロク、柳本昭、森田直樹》

この司祭たちが今後複数で、青少年の様々な活動、グループに関わり、「共に考え・共に責任を担い・共に学び成長していく」養成に関わっていきます。この関わりは、将来の教会共同体作りにもつながっていくことが期待されています。

お知らせ

福音センターより

電話 075 (822) 7123

FAX 075 (822) 7020

◆大聖年特別講演会 テーマ「和

解といのちの世紀をめざして」

大聖年の呼びかけへの一つの応答

AMOR—講師—シスター鎌田論

珠(ノートルダム教育修道女会)

場所—河原町カトリック会館六階

ホール 日時—5月20日(土) 午

後3時—4時30分

◆養成コース 出前コース1日

(土)—2日(日)。三重研宗館

◆西院カトリック会館での行事

◆聖書講座シリーズ17「旅する神

の民」次ページ下段参照。

◆すみえ教室 第2、4木曜日

13時30分—15時30分。

◆青年センターより

電話 075 (822) 6246

FAX 075 (812) 6685

◆開館時間変更になります

来館される方は事前に連絡をお願い

します。

◆教区委員会より

◆青少年委員会

▼京都教区中学生会春の合宿

3月30日—4月1日、桂教会

▼京都教区高校生会春の合宿

3月30日—4月1日 高の原野外

礼拝センター

◆典礼委員会

▼「教会の祈り」と聖体賛美式

2日17時30分、河原町教会。15日

16時30分、衣笠カルメル会修道院

◆部落問題委員会・正義と平和京

都協議会◆部落問題委員会・学習

会15日(土)

▼京都正平協・大阪正平協・糠み

その会共催の講演会「沖縄からの

呼び」を5月14日(日)に開催し

ます。詳細は「糠みその会」欄に。

◆三重地区より

◆大聖年行事「ウオーカソン・三

重」29日(祝)担当教会—松坂

教会およびカトリック諸学校(セ

ントヨゼフ、メリノール、海星)

場所—松坂市内 社会への呼びか

け、輪を広げる。

◆津・久居教会合同黙想会 1日

(土)—2日(日) 三重研宗館

◆三重カトリック研宗館の行事

▼暮しの中のカウンセリング 第

2、4月曜日10時—12時30分▼花

道教室 第1、第2、第3火曜日

午前と午後▼幼児リトミック教室

毎水曜日午前▼茶道教室 第2、

4木曜日13時▼三重ダルク(薬物

依存)ミーティング 毎水曜日19

時—20時30分▼三重CMCC(キ

リスト教メンタル・ケア・センター)

公開講座「心病む人々の友となろ

う」。受講料—一回二千元。第1、

3土曜日14時30分—16時30分。4

月は1日(第11回)「心の病とその

かわりかた」と15日(第12回

「前回と同テーマ」。6月3日ま

で。

◆奈良地区より

◆登美ヶ丘教会 四旬節黙想会

1日(土)—2日(日)。指導司祭—

奥村一郎師(カルメル会)

◆「右近」でもまつり(第30回)

高山右近が幼少を過ごし、洗礼を

受けた地で毎年開催しております。

内容—顕彰式、沢城跡見学、運動

会など。日時—5月5日(子供の日)

午前10時。会場—奈良県宇陀

郡榛原町沢・高山右近顕彰碑前、

交通機関—近鉄大阪線榛原駅より、

奈良交通バス「菟田野(うたの)」

行きにて「比布」バス停下車、徒

歩10分。詳細は、大和八木教会へ

お問い合わせください。案内をお

送りいたします。(電話0744—

22—3855、FAX 0744—

22—8535)

京都南部地区より

◆大聖年行事「ふれあいデー」

(南ブロック) 29日10時ミサ(伏

見教会)、11時—3時30分(聖母

グランド) 他のキリスト教団体・

障害者団体・協同作業所等とのふ

れあい(運動会・模擬店)、ミサ

献金・売上金は他団体援助に寄付。

◆のぞみの園「第9回ボランティア

講座」8日(土) 午後1時30分

—3時30分。テーマ—「人々の心

によりそう(心と魂のケア)」講

師—Sr高木慶子(援助修道会・英

知大学助教授) 無料。

◆京都カトリック混声合唱団 練

習日 9日(日) 14時、河原町会

館6階。

◆京都キリシタン研究会 定例会

23日(日) 14—16時。河原町会

館6階

◆コロチエレステ 練習日 第

2、第4、第5木曜日10時—12時。

河原町教会地下ホール

◆信睦二金会 14日(金) 10時—

13時。西陣教会

◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ

会▼河原町協議会・定例会9日

(日) 13時30分。河原町教会▼京

都中央理事会・定例会16日(日)

13時30分。河原町教会
◆**嫌みその会**

▼例会 27日(木) 19時45分、九条教会。

▼講演会 嫌みその会・京都正平協・大阪正平協共催。テーマ「沖縄からの叫び」、日時 5月14日(日)、場所 河原町教会地階、講師 山田圭吾氏(沖縄正平協)、内容 沖縄サミットを前に、再び

基地問題を考える。青い海と空、美しい島! しかし、わずか半世紀前、そこは地獄と化した地であった。その重荷を今も背負い続ける沖縄! 資料代 500円(中学生百円)

◆**子羊会** 23日(日) 高野教会、復活祭お祝い

◆**レジオ・マリエコミチウム** 第3日曜日13時30分。河原町会館

◆**河原町教会** 10日(月) 15日(土) 四旬節早朝礼拝会

◆**各学校入学式**

▼聖母学院小学校 11日(火)

▼聖母中等学校 8日(土)

▼ノートルダム小学校10日(月)

▼ノートルダム中高等学校7日(金)

▼ノートルダム女子大 3日(月)

▼洛星中高等学校 8日(土)

◆**日星高等学校** 創立70周年記念

司教ミサ・式典5月1日

そ の 他

◆**帰天** ハーコム・アルベルト師(マリスタ会司祭)。一九一四年生まれ。一九四六年司祭叙階、五三年来日、九四年にオーストラリアへ帰国。奈良、御所、富雄、高田、郡山、西大和、八木の各教会を歴任。二〇〇〇年二月二十一日シドニーにて帰天(司祭生活五十四年)。永遠の安息のために祈りください。

◆**「二万匹の蟻運動」基金報告**

累計24,773、134円

加入者865名(2月15日現在)

◆**電話番号情報コーナー**

いのちの電話(相談窓口)

075(864) 4343

0742(35) 1000

052(971) 4343

▼**京都市東九条在宅介護支援センター**(24時間体制)

075(662) 3971

聖書講座シリーズ17

旅する神の民 一大聖年を歩む

時 間・水曜日夜コース 午後七時半～九時
木曜昼コース 午前十時～正午
場 所・西院カトリック会館
費 用・五千元

共 催・京都教区聖書委員会 福音センター
締 切・4月28日(金)
申 込・福音センター「聖書講座係」
電 話・075-822-7123 FAX075-822-7020

第1回	5月10・11日	聖年 一恵みの年一
第2回	5月17・18日	回心、福音を信じる
第3回	5月24・25日	バビロンの捕らわれと解放
第4回	5月31・6月1日	律法主義からの解放(安息日問題)
第5回	6月7・8日	ゆるしの年(ゆるしの秘跡・免償)
第6回	6月14・15日	信仰の証し 一殉教とは一
第7回	6月21・22日	イエスの記念 一聖体一
第8回	6月28・29日	巡礼 一歴史を旅する一
第9回	7月5・6日	アダムの旅(新しいアダムへの)
第10回	7月12・13日	アブラハムの旅(信仰の旅)
第11回	7月26・27日	イスラエルの旅(摂理の旅)
第12回	8月30・31日	モーセの旅(過越)
第13回	9月6・7日	愛の証の時
第14回	9月13・14日	メシアへの旅
第15回	9月20・21日	イエスの旅
第16回	9月27・28日	聖家族の旅
第17回	10月4・5日	終末への旅 一父に帰る一
第18回	10月11・12日	ベトロとパウロを中心にした教会の旅
第19回	10月18・19日	死から生命への旅
第20回	10月25・26日	御子の受肉(インマヌエル)

村上透磨神父
諏訪栄次郎神父
金 纓牧師
来住英俊神父
松本秀友神父
泉 安広神父
大塚喜直司教
北村善朗神父
幸田和生神父
生熊秀夫神父
西 経一神父
Srマグダレナ
Sr小久保喜以子
大島 力牧師
沼野 尚美氏
中川博道神父
鈴木信一神父
菊池 功神父
池長 潤司教
奥村一郎神父

大塚司教の

4月のスケジュール

3日(月) ノートルダム女子大
入学ミサ10時
6日(木) 司教常任委員会10時
6日(木) 正平協事務局16時
6日(木) 日韓関係史勉強会18時
19日(水) 司教顧問会10時

聖週間典礼(河原町教会)

20日(木) 聖木曜日19時
21日(金) 聖金曜日19時
22日(土) 復活徹夜祭19時
23日(日) 復活の主日10時30分

27日(木) 司教評議会10時30分
29日(土) 30日(日) 教区本部
事務局研修会

◆大聖年祝祭カレンダーについて

第二回教区カトリック協議会
(一九九八年十月十七日)で、大
塚司教様は、大聖年の取り組みを
考えてみようと呼びかけました。
すでに教皇様より発表された、
パチカンと全世界のための二〇〇
〇年の大聖年の暦を、教区の皆さ
んにお知らせすると共に、それを
参考にして教区の暦を作成しまし
た。

パチカン暦を参考にして、自分
たちの独自の暦を作成するという
ことは、たくさんの方々の行事を組
み立てることではなく、様々な祝祭を
通じて私たちが包んでいるすべて
の事柄に対して信仰の観点から関
心を持つことが大切なことなので
す。

大聖年祝祭カレンダーにあわせ
て、どのように大聖年を過ごすか
という皆さんの独自の暦を作り、
有意義な実りの多い一年としてく
ださい。

◆滋賀地区大聖年記念行事

名称 安土セミナーヨ2000
日時 5月28日13時~16時
場所 安土文芸セミナーヨ
内容 大聖年式典と祝祭コンサー
ト

◆編集部よりお詫び

268号(3月号)の記事に誤
りがありました。
5頁「京都教区人事一覧」奈良
南部の司祭「タロウ」神父様を
「タロウ」と表示してしまいまし
た。

夢

佐藤 紀子

「大きくなったら、何になり
たいですか?」

今までいったい何回ぐらいこ
の質問に答えて来たのでしょうか。
か。少なくとも、私が憶えてい
る限りでは、その時その時によっ
て私になりたいものは変わって
いったということですね。しかし、
だんだん大きくなるにつれて、
自分のなりたいものは何なのか、
分からなくなっていました。短
大を卒業して、会社にも就職し
たのですが、やはり、毎日の生
活に追われてしまっていて、自分
が何になりたいのか分からなくな
っていました。もちろん、生活を
していくというのは、ものすご
く大変なことなんです。けれど、そ
れだけなのか。生活のためだけ
に働くのか。いや、きっとそれ
だけではないはずです。それだ
けのために、生きていくのなら、
あまりにももったいない!!

青年センター

新専従者の紹介

これが、私が今回青年センター
の専従者になるいちばん大きな
理由かもしれません。では、な
ぜ青年センターの専従者なのか。
それはやはり、私が短大の時に
青年センターを通してアジア体
験学習でフィリピンに行ったの
がキッカケだったと思います。
その時私は初めてスラムを見ま
した。そして、私は今までの自
分が凄く恥ずかしくなりました。
「私は今までいったい何をし
てきたのか?」そして、これか
ら何をするのか?」
自分の今までの価値観が全て
変わりました。それほど、アジ
ア体験学習は私に影響をもたら
したのです。それからです。こ
のままでいいのか、自分が何を
するために生きているのか。と
にかく、このまま、ただ何と
なく生きていくというのは、もっ
たいない!
これから一年間、青年センタ
ーの専従者をやりながら、そのこ
とについてゆっくり考えていき
たいと思っています。